

チャペル週報

No.28

2017.1.6 ~ 1.12

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。
たじろぐな、わたしはあなたの神。
勢いを与えてあなたを助け、
わたしの救いの右の手であなたを支える。

(イザヤ書41章10節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月6日(金) 神 Chapel in English Epiphany David Wider (神学部教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
人 大 和 三 重 (人間福祉学部長)
院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
理 ALL賛美歌プログラム(1)

1月10日(火) 神 コーヒーチャペル 神 田 健 次 (神学部教授)
社 新年を迎えて 打 樋 啓 史 (宗教主事)
経 卒業生を覚えて 田 中 敦 (経済学部長)
理 ALL賛美歌プログラム(2)
総 宗教総部

1月11日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル・チャペル(西宮上ヶ原キャンパス)
メッセージ 打 樋 啓 史 (社会学部宗教主事) ランパス記念礼拝堂
理 ALL賛美歌プログラム(3)
総 古 結 章 司 (吉岡記念館事務室職員)
教 梶 原 直 美 (宗教主事)

1月12日(木) 神 癒し① 土 井 健 司 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 学年度末にあたって 難 波 功 士 (社会学部長)
法 大 宮 有 博 (宗教主事)
商 井 上 達 男 (商学部長)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (Missionary)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
聖和 芝 田 正 夫 (教育学部教授)

◇ランパス早天祈祷会 今年度最終回 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
1月6日(金) 新年を迎えて *震災22周年を覚えて Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)

新年を迎えて ―新しい年を迎える〈心〉―

細川正義

2016年12月9日は夏目漱石の没後100年の命日です。そして2017年は生誕150年を迎える年になります。大きな〈節目〉を記念して様々なイベントが組まれます。漱石だけでなく2016年は遠藤周作、司馬遼太郎の没後20年でもありました。私達はこの様な〈いのちの節目〉を話題にすることが多くあります。私たち個人におきましても成人式、還暦、古希と、〈節目〉を祝い、記憶にとどめようとします。家族や友人の誕生日を祝うこともここに加えておくべきでしょう。

それはとりもなおさず「人のいのちのかけがえのなさ」を私たち一人一人が無意識のうちに心に刻んでいるからだと思います。

太宰治が、第二次世界戦争が勃発したその朝に書き上げた『新郎』において、「一日一日を、たっぷりと生きて行くより他は無はなむこい」「ああ、このごろ私は毎日、新郎の心はなむこで生きている」と書いています。世界を相手にした大戦争が始まる事の重大さを受け止めている太宰ゆえの心情が示されています。

近年、世界の各地で地震などの自然災害が起り、争い事も多発しています。アメリカの次期大統領が決まり世界情勢への影響が取りざたされています。日本の国際的存在と責任も話題になってきています。2017年が変化・変動の多い年になることが予測されます。私たちがそうした時の動きに確かな目配りをする必要があることは言うまでもありませんが、同時に、私達は太宰のメッセージのように、いかなる時にあっても、私達の「一日一日」を大切にとなりびとして、私のいのち、隣人のいのちのかけがえのなさをしっかりと心に刻んで過ごしていかなければいけないと思っています。

ドストエフスキーが「人類は愛するが、隣の親父は憎い」という言葉をどこかで書いていました。私達はともすれば大言壮語になったり、大きなイベントに心を奪われたりして、それがために、身の日常をおろそかにし、隣人を軽んじてしまうことがあります。

「新年を迎える」ということは私たち一人一人の大切な〈節目〉です。自分の置かれている立場・責任・役割を見直して、自分にとって、隣りに人にとってのかけがえのないいのちに対して、厳粛な気持ちをもって新年のスタートを切りたいと思います。

(文学部教授)

●**関西学院大学 阪神・淡路大震災メモリアル・チャペル**

メッセージ: 打樋 啓史(社会学部宗教主事)

と き: 1月11日(水)10:35~11:05

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 関西学院大学

●**大阪梅田キャンパスチャペルアワー**

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405号教室)

1月12日 主題: 新しい年を迎えて

山本 俊正(キリスト教と文化研究センター長)

1月19日 主題: 阪神・淡路大震災を覚えて

舟木 讓(宗教総主事)

●**夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~**

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第5回 1月12日(木)18:30~20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

●**チャペル・オルガニスト卒業演奏会**

各学部チャペルをはじめ式典などでオルガン奏樂を務めるチャペル・オルガニスト9名今春関西学院大学を巣立ちます。学生時代の思い出を胸に、レッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き: 3月4日(土)14:00~

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書が必要)であればどなたでも利用できます。希望者は事務室までお越しください。

●**使用済み切手収集にご協力ください**

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●**盲導犬育成のためご協力をお願いします**

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので、皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●**今号が本年度「チャペル週報」の最終号です**

2017年度は4月7日(金)からの発行となります。新年度もチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしてまいります。また、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。